

やまぐちっ子学力向上だより

第126号 R5.3.3

山口県教育庁義務教育課

全ての児童生徒が不安なく新年度に臨むために ～ 春休みの家庭学習についても、きめ細かな学習支援をお願いします ～

令和4年度も、残すところ1か月となりました。

春休みは、授業を通して蓄えた「わかる喜び・できる楽しさ」をもとに、夢や目標をふくらませて新年度に臨むための大切な時期であり、児童生徒が自らの学習を整える絶好のチャンスです。各学校におかれましては、春休みに入る前に、児童生徒が、休み中の学習計画を立てるための時間を確保しましょう。児童生徒一人ひとりが、それぞれの学習状況に応じた取組を進めることができるよう、先生方による効果的な支援をお願いします。

1：児童生徒が、自らの学習状況を受け止める

「やまぐちっ子学習プリントDASH」をはじめとする学習プリントや調査問題などに取り組み、自分の「できること・わかること」と「できないこと・分からないこと」を明らかにします。

<例>

計算問題は嫌いじゃないけど、うっかりミスが結構多くて、点数が伸びない。

2：児童生徒が、自らの課題を焦点化する

明らかになった「できないこと・分からないこと」に優先順位をつけ、自分が春休みに解決したい課題を選択・決定します。

<例>

特に、小数と分数が入った計算に対する苦手意識をなくしたい！

3：児童生徒が、自らの課題解決方法を考える

自分が選んだ課題を解決するためには、どのような学習に取り組んでいけばよいか、具体的な方法を考えます。

<例>

たくさん問題を解く。答え合わせに時間をかけて、なぜ間違ったのか確認する。

4：児童生徒が、自らの学習計画を立てる

春休み中の一日のスケジュールや行事などを想定した上で、「いつ」「どこで」「どのくらいの時間」「どんな内容」の学習に取り組むか、具体的な計画を立てます。

<例>

午前中に勉強する習慣を身に付けよう。やまぐち学習支援プログラムの問題を繰り返し解こう。

学習計画を立てることができたからといって、安心はできません。先生方は、機会を見つけて児童生徒に声をかけ、家庭学習の様子を尋ねるとともに、必要に応じてアドバイスををお願いします。計画通りに進んでいるようであれば、分かりやすい言葉で価値付けしましょう。自分の取組を見守ってくれる大人の存在に気付くことができれば、児童生徒は、苦手な問題にもあきらめずに挑戦し続けるエネルギーを得ることができるはずです。

全ての児童生徒が学習面で不安を感じることなく、希望を胸に新年度に臨むことができるよう、春休みの家庭学習についても、誰一人取り残すことなく、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな支援をお願いします。